

中井だよい

中井やまゆり園

変化は悪いことばかりではない

地域支援課 活動支援班長 高橋 隆志

4月の転勤で4度目の中井やまゆり園となりました高橋です。今回、初めて日中活動を担当させていただくことになったので、日中活動の紹介をさせていただきたいと思います。

昨年度までは、利用者一人ひとりの興味や日中活動に対するニーズに合わせて、さまざまな寮で生活する利用者が集まってグループとして活動していました。今年度に入り他者と接触する範囲を狭めることで、新型コロナウイルス感染症を予防しようと寮ごとに日中活動を行う体制をとることになりました。4月から日中活動職員はそれぞれ6つの生活寮に配属になり、時に生活の支援をサポートしながら、寮の職員と一人ひとりの好みに合わせた活動を提供しています。

私は星寮の活動を支援しています。星寮には視力に支障のある人、歩行機能に支障のある人、自閉症の特徴の強い人等、一人ひとり違うニーズのある人が集まった寮なので、一人ひとりのニーズに合わせた活動ができるコーナーとしておやつコーナーを中心に、クッションのきいたマットを敷いたリラクゼーションコーナーや作業活動のコーナーを設けました。午前中の1時間は10人程度が過ごす時間としていますが、園内を散歩したり、軽作業をしたり、歩行機能維持のための活動をしたり、一人ひとり違う活動をしながら、同じ空間を共有する時間が持てるように支援をしています。活動を通して一人ひとりがリラックスできるように、活動を楽しめるように環境の見直しをしています。

他の寮から星寮に引っ越してきたおひとりの利用者が11月にグループ活動に参加するようになりました。ボールを拾い集めて職員に褒められると、とっても嬉しそうな表情になり、活動後はカルピスと大好きなグミを満足そうに食べています。おやつを食べた後は他の人の様子を眺めながらニコニコと過ごしています。活動室に来ると嬉しそうに自分専用のコーナーに走っていく姿は見ていてとても微笑ましく感じます。

新型コロナウイルス感染症によって、やむなく始めた寮ごとの活動体制ですが、寮職員と協力して活動を提供できるようになった等、職員からは好意的な意見が多くみられています。体制が変わることで利用者の動揺を心配していましたが、これまで提供していた活動を継続して提供できるよう配慮したため、安定して活動参加ができています。

変化は新しいことに取り組むチャンスだと強く実感しました。日中活動を取りまとめる立場として、また中井やまゆり園の一員として、ポジティブに、そして楽しく、チャレンジを重ねていきたいと思っています。これからもよろしくお願いします。